

2021年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社センチュリー21・ジャパン
 代表者 代表取締役社長 園田 陽一
 (コード番号 8898)
 問合せ先 執行役員経営企画部長 奥村 秀哉
 (TEL 03-3497-0021)

剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想決定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年4月27日に公表いたしました「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において、未定としておりました2022年3月期の中間配当につきまして、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2021年3月期 中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	25円00銭	—	20円00銭
配当金総額	260百万円	—	208百万円
効力発生日	2021年12月1日	—	2020年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年4月27日発表)	—	—	45円00銭
今回修正予想		20円00銭	45円00銭
当期実績	25円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	20円00銭	25円00銭	45円00銭

3. 配当予想の理由

(1) 2022年3月期通期業績予想について

当第2四半期までの業績は順調に推移しましたが、通期業績予想については以下3点の理由から据え置きとしております。

- ① 新型コロナウイルス感染症の状況や金利の上昇懸念等、引き続き事業環境は不透明であること
- ② 現下の不動産市況は、在庫不足による取引件数の減少傾向、第三次ウッドショックによる戸建新築の停滞、特に都市部における価格高騰による購買需要先細り懸念等に直面していること
- ③ 第3四半期以降は、期初より予定している新基幹システム稼働による減価償却費増加並びに人員増強による人件費増加が見込まれること

(2) 配当予想について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2022年3月期の配当予想につきまして、第2四半期については未定、年間配当予想については45円としておりましたが、このたび第2四半期末の配当を25円と決定いたしました。また、現時点での通期業績予想を踏まえ、年間配当予想は45円に据え置き、期末配当予想は20円としております。

※業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上